

標準施工要領書

< サッシ廻り充填用プレミックスモルタル >

ショウワトロづめ モルタル

株式会社レゾナック建材

営業部

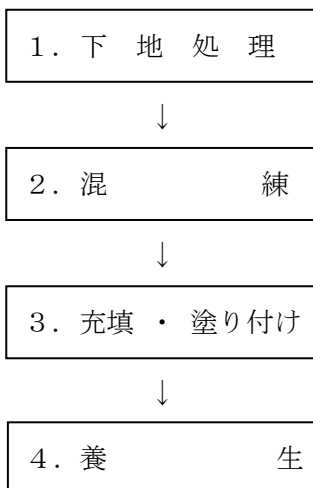
〒221-8517
神奈川県横浜市神奈川区恵比須町8番地
TEL 045(444)1691 FAX 045(444)1699

1. 用途 RC 造(SRC 造)におけるサッシ等開口部材とコンクリート躯体との隙間の
 充填
 ALC パネルとコンクリート躯体との隙間の充填
 パイプスペース(PS)のダキモルタル

2. 使用材料

材料名	荷姿	性状・その他
ショウワトロづめモルタル	20kg/紙袋	完全プレミックスモルタル

3. 施工順序



4. 施工手順

(1) 下地処理

下地の突起物、レイトンス、硬化不良部分、粉塵、油分、汚れ等は、ブラシ、サンダー等で適切に除去してください。

下地にクラックや著しい欠損がある場合は、充填前に処理してください。

施工箇所は十分な水湿しを行うか、シーラー処理（ハイモルエマルジョン5倍液）を行ってください。

(2) 混練

	配合	重量比	標準練り上がり量
ショウワトロづめ モルタル	20kg/袋	100	約 20L/袋
清水	約 7.0L	35	

所定量の清水（7.0L）を容器に入れ、次にモルタルミキサーまたは、ハンドミキサー等で攪拌しながらショウワトロづめモルタル（1袋）を徐々に加え、十分に練り混ぜ（約3分）、施工軟度に調整してください。

※ 練り混ぜ後、60分以内にお使いください。

※ 粉体を追加する練り足し、水を加えての練り戻しは避けてください。

(3) 充填・塗り付け

注入器（商品例：ツマール）等で隙間の無いように充填してください。

※ 充填性が悪い部位（幅、奥行きが10cmを超える場合等）は2回以上に分けて充填してください。（追いかけ施工は可能です。）

(4) 養生

仕上げ材施工までの養生期間は9日（冬季14日）以上としてください。

また、通風や日射による早期乾燥を防止するため、必要に応じてシート養生、散水養生を行ってください。養生期間内に降雨・降雪等が考えられる場合には、適切なシート養生等を行ってください。なお、仕上げ材によっては、下地の含水状況により、膨れ、剥離等不具合が発生する場合がありますので、必要な場合は、含水状態の確認を行い仕上げ材の施工を行ってください。

※ 養生期間の考え方；養生温度の平均が 20℃で養生期間が 9 日必要であれば、養生温度の平均が 10℃の場合、同じ硬化状態にするためには、養生期間はおよそ 14 日必要となります。

<施工上の注意>

- 気温が 5℃以下の時は施工を中止するか、適切な保温、採暖を行ってください。
- 施工中及び施工後、硬化前に降雨、降雪の恐れのある場合は、施工を中止してください。やむを得ず施工する場合は、適切な養生（シート養生等）を行い、直接雨や雪がかからないようにしてください。強度不足や白華（エフロ）の原因となります。
- 現場にて砂、セメント等を追加混入することは絶対に避けてください。
- セメント製品に特有の現象である白華（エフロ）が発生することがありますが、品質には異常ありません。

※標準仕様以外での施工による不具合につきましては、弊社では責任を負いかねますのでご注意ください。

5. 注意事項

<使用上の注意>

- 取扱い時は必ず保護具（保護手袋・保護眼鏡・マスク等）を着用してください。
- 取扱いは換気の良い場所にて行ってください。
- 取扱い後はうがい及び手洗いを充分に行ってください。
- 取扱い後の器具類は早めに水洗いしてください。

<応急措置>

皮膚に付着した場合	皮膚は多量の水で洗浄してください。汚染された衣類を脱いでください。 皮膚刺激が生じた場合は医師の診断又は手当てを受けてください。
眼に入った場合	水で数分間注意深く洗ってください。次に、コンタクトレンズを着用して いて容易に外せる場合は外してください。その後も洗浄を続けてください。 直ちに医師の診断を受けてください。
飲み込んだ場合	口をすすいでください。無理に吐かせないでください。 気分が悪いときは医師に連絡してください。

<保管上の注意>

- 雨露のかからない湿気の少ないところに保管し、直射日光を避け地面に直接放置しないでください。
- 購入された材料は製造日から4か月以内に使用しきってください。

<運送上の注意>

- 袋の損傷による内容物の漏れが無い事を確認してください。
- 転倒、落下、損傷が無いように積み込み、荷崩れの防止を確実に行ってください。
- 湿気、水濡れに注意してください。

<廃棄上の注意>

- 都道府県条例に基づき処理するか、許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託してください。

<漏出時の注意>

- 飛散したものは掃除機で吸い取るか、スコップ、ほうき等で集め、袋などで回収してください。
- 排水は中和、希釈処理などを行い、河川等に直接流出しないようにしてください。
安全上の注意事項の詳細については別途、「安全データシート(SDS)」をご参照ください。

以上

202410